

# 【平成 28 年 8 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

静岡県商工会連合会

静岡県商工会連合会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび平成 28 年 8 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

## 記

### 1 調査概要

- (1) 調査時点 平成 28 年 8 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 38 商工会（うち 38 商工会より回答）【回収率 100%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

### 2 概要（トピックス）

#### 【8 月期の産業全体の業況 DI は好転、10 業種中 7 業種で好転を示した】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-19.5（前月-23.2、前年同月-15.4）で、前月と比べ 3.7pt 好転した。10 業種中 7 業種で好転を示した。建設業では、リフォームの需要が増加、サービス業では宿泊業の好調が好転の一因と考えられている。

#### 【製造業】

業況は-20.2（前月-16.7、前年同月-7.9）と前月と比べ 3.5pt 悪化した。夏季休暇による生産量の減少、食料品の材料高騰が複数寄せられた。

#### 【建設業】

業況は-13.1（前月-18.4、前年同月-13.2）と前月と比べ 5.3pt 好転した。リフォームは順調に推移していると報告が寄せられた。

#### 【小売業】

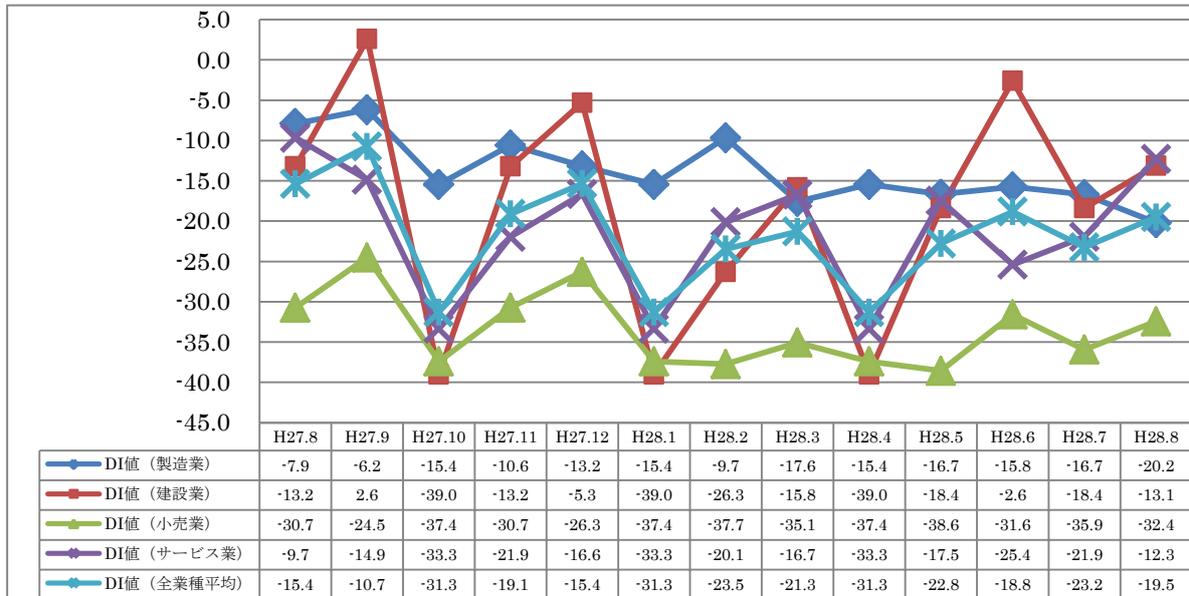
業況は-32.4（前月-35.9、前年同月-30.7）と前月と比べ 3.5pt 好転した。猛暑によりエアコン・氷菓の売上が増加との報告が寄せられた。衣料小売業については DI は好転したものの明るい報告は見られなかった。

#### 【サービス業】

業況は-12.3（前月-21.9、前年同月-9.7）と前月と比べ 9.6pt 好転した。旅館業では、観光客の宿泊が増加傾向にあると報告が寄せられた。理美容業については、DI は好転していて、高気温により来客が増加したとの報告が寄せられたが、明るい報告は少なかった。

### 3 本調査に関するお問合せ 経営管理課 Tel.054-255-8080 [担当:石川、吉本]

＜平成 28 年 8 月期 業種別業況 DI 推移表＞



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属製造業)

- ・食品分野においては、台風の影響から材料の高騰並びに量の不足が出ており、生産計画に影響を及ぼしている事例が出ている。(富士駿東)
- ・夏季休暇があったため生産を調整していた関係で売り上げが若干下がっている事業所がある。(中部)
- ・自動車関係は、国内生産が1～2減産である。国内販売台数の減少が原因である。(西遠)

【建設業】

- ・公共工事を中心に安定していた。(伊豆)
- ・春先仕事が薄く厳しい事業所も多かったが、夏以降受注が増えてきている。(中部)
- ・建築塗装業は好調で、年内はどこも多忙な様子である。(中東遠)
- ・消費税増税の予定もあり新築・リフォーム共に順調に推移している。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

- ・食料品:8月は売上が下がるので商品アイテムを増やして減少をくい止めた。(伊豆)
- ・食料品、製造業についても前年度と比べると、売上は変わらないとのことで、下げ止まってはきているが経営自体は依然として厳しい。(中部)
- ・猛暑と来年の消費税とでエアコンの売上は好調。同様にアイスや清涼飲料水の売上も好調とのこと。(中東遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・蕪山反射炉の世界遺産登録の効果がみられる。(伊豆)
- ・理美容は高温と、新学期開始前の整髪で来店者増。(中東遠)
- ・宿泊業が、好調に推移。只、お盆の時期がピークで、今年はオリンピックのTVで釘づけ状態であったのか、行楽客が若干減少傾向にあったとの声もあった。(西遠)

## 小規模企業景気動向調査(平成 28 年 8 月期)

### 1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-31.6	-18.5	悪化
売上	-18.4	-10.6	減少
仕入単価	28.9	15.8	上昇
採算	5.3	-5.3	好転
資金繰り	-10.5	-5.3	悪化

### 2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-7.9	-13.2	好転
売上	-7.9	-10.5	増加
仕入単価	10.5	7.9	上昇
採算	-13.2	-13.2	不変
資金繰り	-7.9	-10.5	好転

### 3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-21.1	-18.4	悪化
売上	-10.6	-10.5	減少
仕入単価	-2.6	-5.3	上昇
採算	-10.6	-13.2	好転
資金繰り	-13.1	-13.2	好転

### 4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-13.1	-18.4	好転
売上	-10.5	-13.2	増加
仕入単価	10.5	13.2	低下
採算	-10.5	-23.6	好転
資金繰り	-15.9	-26.4	好転

### 5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-47.4	-50.0	好転
売上	-26.3	-21.1	減少
仕入単価	2.7	2.6	上昇
採算	-31.5	-28.9	悪化
資金繰り	-31.6	-31.6	不変

### 6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-15.7	-26.3	好転
売上	-13.2	-10.5	減少
仕入単価	26.3	13.2	上昇
採算	-31.5	-21.0	悪化
資金繰り	-13.2	-10.5	悪化

### 7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-34.2	-31.5	悪化
売上	-13.2	-21.0	増加
仕入単価	21.1	21.1	不変
採算	-15.8	-18.4	好転
資金繰り	-21.1	-18.5	悪化

### 8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	0.0	-10.5	好転
売上	18.4	-10.5	増加
仕入単価	18.5	7.9	上昇
採算	-13.2	-7.9	悪化
資金繰り	-5.3	-10.5	好転

### 9.洗濯業

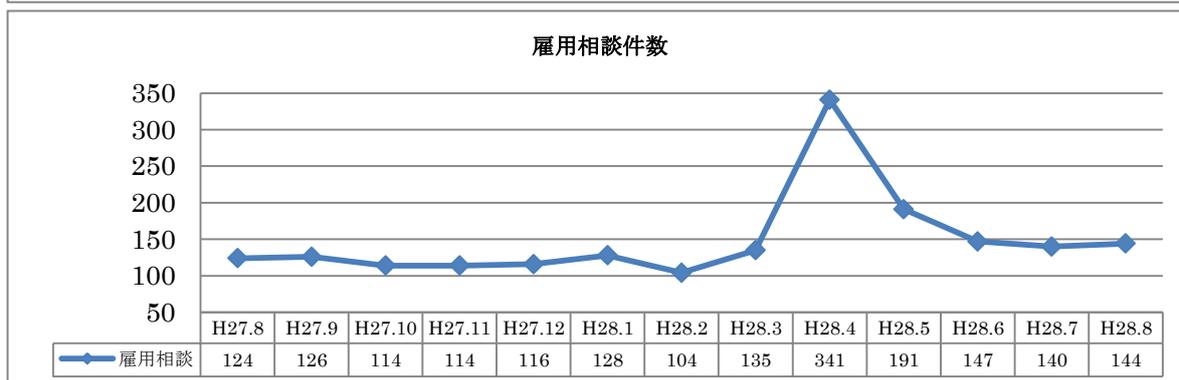
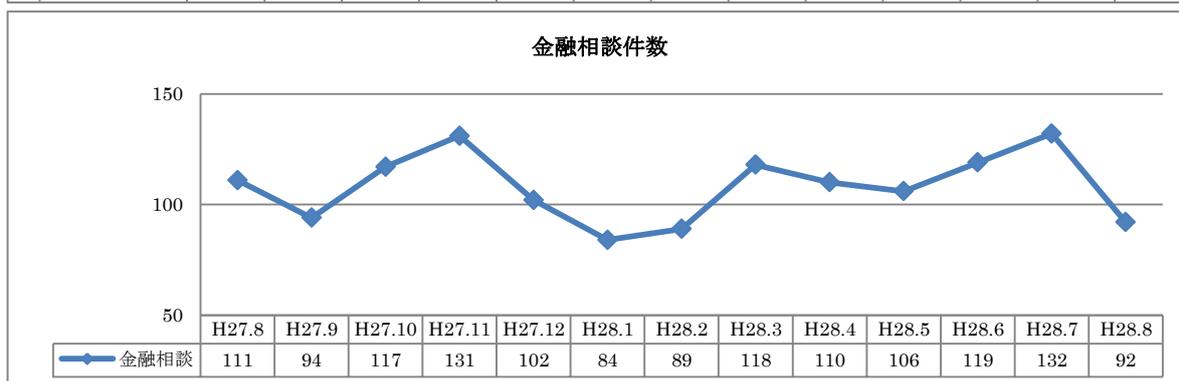
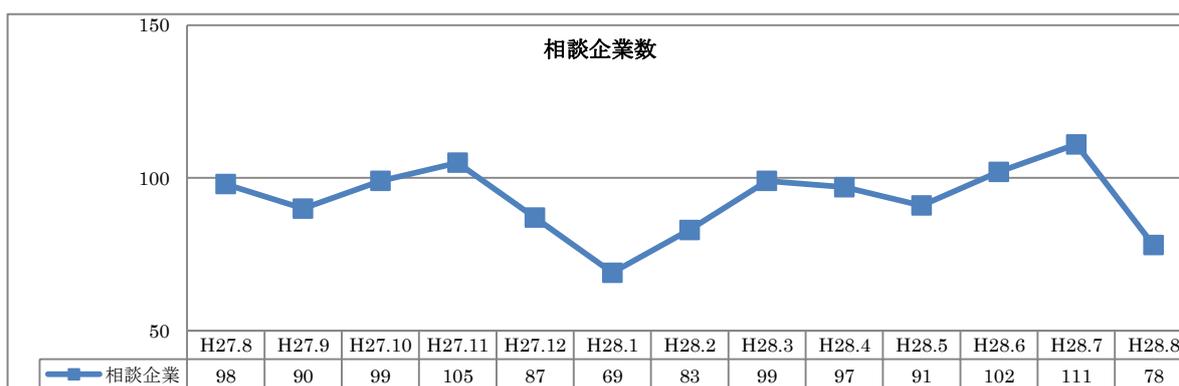
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-23.7	-31.6	好転
売上	-7.9	-2.7	減少
仕入単価	0.0	5.3	低下
採算	-5.3	-5.2	悪化
資金繰り	-13.2	-15.8	好転

### 10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-13.1	-23.7	好転
売上	-5.3	-7.9	増加
仕入単価	2.6	0.0	上昇
採算	-2.6	-2.6	不変
資金繰り	-2.6	-7.9	好転

## 金融・雇用相談実績月次報告(平成 28 年 8 月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	78	111	-33
【金融相談件数】	92	132	-40
新規融資（借換えを除く）	53	75	-22
既存債務の借換え	32	46	-14
借入れ条件変更	1	3	-2
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	1	-1
その他	6	7	-1
【雇用相談件数】	144	140	4



## 【金融相談】

金融相談件数は、92件と前月(132件)に比べ40件減少した。相談内容については、新規融資(借換えを除く)、既存債務、借入れ条件変更、貸し渋り・貸し剥がし、その他が減少した。

### <経営指導員コメント>

- ・金融相談会等を実施した訳では無かったが、月末になり金融需要が高まる。一部海水浴等の減少による観光産業低迷も要因か。(伊豆)
- ・運転及び設備資金について少しずつ需要あり。(富士駿東)
- ・資金需要は全般に低調。(中部)

## 【雇用相談】

雇用相談件数は、144件と前月(140件)に比べ4件増加した。人的管理に関する相談があった。

### <経営指導員コメント>

- ・人的管理の面で悩む事業所が増加している模様。育児中の若年女性の雇用について関心があるものの、保育施設の設置をはじめ課題が多いため具体的な行動に移れない事業所も見受けられる。(富士駿東)
- ・新たに従業員を雇用する際に活用できる助成金がないか相談が増加している。(中部)
- ・「従業員の高齢化」を問題視している企業も多く、若年者の雇用機会提供が課題となっている。(中東遠)
- ・社会保険の未適用事業所について、年金機構の追及が厳しくなり、加入を求められた事業所からの相談が多くなっている。(西遠)

## 【その他商工会管内に関するコメント】

- ・今井浜海水浴場の入込客は、前年対比で35%減少の29,490人。大幅に海水浴客が減少した。台風の影響もあるかもしれないが、危機感を募らせる結果となった。(伊豆)
- ・北海道などの台風被害により野菜類の価格が上昇傾向にある。現在はまだ影響が軽微であるが今後の景況が懸念される。(中部)
- ・廃業による退会が増加(高齢化)(中部)
- ・大河ドラマに関連した昼食等の来年の引き合いが一部で旅行業者より来ているとのこと。(西遠)